～ 研究開発の概略 ～

（1）データサイエンスの考え方に基づいたイノベーティブなデータ活用力の育成

「ＤＳスキル」「ＤＳ読解」「ＤＳ基礎」「ＤＳ Ｒｕｂｙ」により、読解力、発想力、表現力、科学的リテラシーを基盤として、情報学や統計学の知識・技能と人文社会系の知見とを融合させて、社会課題の解決のためにデータを創造的に活用する力を育成する。

（2）科学技術を基軸に、多様な他者と協働して課題解決を目指す行動力の育成

「未来創造リサーチ＆アクション・プログラム」を全生徒が行うことにより、科学技術を活用して、課題を発見する力、主体的に探究する力、多様な人々と協働して行動し成果を発信・共有する力を育成する。

（3）地域「発」「着」トップサイエンティストの育成

「地域サイエンスフィールドワーク基礎」「先端科学技術研修」「朱雀サイエンスセミナー」「科学部の活性化」により先端科学技術への興味関心を高め、研究の質の向上を図る。

（4）国際性の育成

英語の４技能を伸ばすとともに、海外の大学・高校・研究機関・企業と双方向で連携することにより国際社会で活躍する資質を高める。

〒690-8519
島根県松江市八雲台１－１－１
島根県立松江南高等学校

TEL　0852－21－6329(代表)　　Fax　0852-21-1975
https://www.matsue-minami.ed.jp/

令和2年度～令和6年度　第1期 基礎枠指定

スーパーサイエンスハイスクール SSH

60年目の改革　～Evolution Starts Here!～

島根県立松江南高等学校

MATSUE MINAMI
Super Science Highschool

島根県立松江南高等学校

SSH活動紹介2023

データ活用力　科学的探究力

“南高”のSSHプログラムでは**科学技術を開発・活用し、データ分析を用いて、全ての人が幸せに生きる社会の創造に挑戦する人材**を育成します。

1年生 未来をデザインしよう! 未来\構想力/の育成

RAP基礎
社会課題と先端科学技術のつながりを知り探究課題を発見する。

SDGsと科学技術フィールドワーク
科学技術による社会課題解決の取り組みを調べる。

DSスキル
データサイエンスの手法を探究的な学びに活用する。

DS Ruby
松江市発のプログラム言語Rubyを使用してプログラミングの基礎を学ぶ。

DS読解
各教科がテーマに沿ったデータを用いた文理融合の授業をリレー形式で行う。昨年度のテーマは「レアメタルと現代社会」など。

科学英語セミナー
海外の大学や研究室と結び、英語で最先端の科学にふれる。昨年度はオックスフォード大学、イタリア・ボローニャ天文台とオンラインで繋いで実施。

地域サイエンスフィールドワーク基礎
地域における科学研究の現場で体験学習を行い、科学的な見方・考え方を育てる。

2年生 目指す未来に向け思考しよう! 未来\探究力/の育成

RAP応用A
データを活用し、社会課題を解決するための探究活動を行う 。

RAP応用B
産官学が連携し、科学技術について独自の探究を行う。

課題研究成果発表
1年間の探究活動の成果をグループごとに発表する。

英語による発表会
探究成果を英語で発表する。質疑応答も英語で行う。

先端科学技術研修
関東地方に出かけ、最先端の科学技術に関する「 ヒト 」「コト」「モノ」に触れる。研究施設や大学、企業を訪問する。

3年生 他者と協働しアクションしよう! 未来\創造力/の育成

RAP発展A・B
探究活動の成果を発信、共有、実践。

南高アクションデー「アクション・クエスト」
これまでの探究や行動の結果を発表する。他の高校からも参加してもらい大いに盛り上がった。

探究アクション・ワークショップ
探究の成果を振り返り、次のキャリアに活かすためのワークショップ。他校生や大学生も参加。

朱雀サイエンスセミナー
高度なサイエンスに触れるチャンス。
【全学年】

普 普通科　探 探究科学科

RAP（ラップ）とは
南高独自の探究の科目「未来創造リサーチ&アクションプログラム」のこと。データに基づいて、未来を構想し、行動する人材を育てるためのプログラムです。

DSとは
データサイエンスの略。南高のSSHでは全員がデータサイエンスのスキルを用いて、探究活動を行います。